

## ロシアはウクライナへの侵攻を止め、撤退せよ

2月24日、ロシアのプーチン大統領は、ウクライナの各地へとロシア軍を侵入させ、武力による攻撃を開始した。

これは、主権国家に対する明らかな侵略行為であり、国連憲章、国際法の基本原則に違反し、踏みにじるものである。いかなる理由があろうとも侵略武力による攻撃は許されるものではない。

軍事攻撃は、ウクライナの軍事施設にだけでなく、住宅や病院等の施設をも攻撃しており、多数の民間人の犠牲者を出している。

また、ロシア軍はチェルノブイリ原発を占拠、核施設を攻撃するなど、新たな核被害の危険性が高まっている。

さらに、プーチン大統領は、核戦力を含む核抑止部隊を高度の警戒態勢に置くように軍司令部に指示し、ウクライナだけでなく世界各国をも威嚇している。

これは2022年1月3日にロシアを含む核保有五カ国で発出した核戦争や軍拡競争を防ぐための共同声明にも反している。

私たちは生命と健康を守る医師・歯科医師の団体として、戦争のない平和な社会にこそ、より良い医療が存在すると確信している。人々を傷つけ、破壊する行為は看過できない。

ロシアによる侵略行為に強く抗議するとともに、直ちに侵攻・攻撃を止め、ウクライナから軍を撤退させることを強く求める。

2022年3月8日

山梨県保険医協会 会長 長田高典